

R I S T E X 若手の会企画
研究会「リスク心理学と犯罪からの子どもの安全」

H22.8.5

1. 企画の趣旨

犯罪からの子どもの安全対策には、見守りやパトロールなどの防犯活動、機器の利用、防犯教育などさまざまな選択肢が存在します。そこでは、子どもの安全の専門家や一般市民が、犯罪被害という不確実事象のリスクを評価し、選択肢の中からどの安全対策をどの程度実施するかを決定し、実行しているという図式が成り立ちます。また、日常生活でも、保護者は子どもを一人で外出させるかどうかを、外出先までの距離、所要時間、安全性を評価して決定していることでしょう。これらは、子どもの安全について「どの程度安全なら十分か」「どの程度のリスクを受容するか」という問題ともいえます。この問題のより良い解にたどりつくためには、人間の心理メカニズムに起因するさまざまな陥穽を知る必要があります。

リスク心理学は、科学技術、環境、経済、食の安全などさまざまな場面で人間がリスクをどう認知し、意思決定し、行動するかを扱っており、その理論は「犯罪からの子どもの安全」を考える上でも有用だと思われれます。しかし、リスク心理学について実際に学ぶ機会は多くありません。このため、本企画では、日本のリスク心理学の第一人者である中谷内一也先生をお招きし、リスク心理学の基礎理論を学びます。

2. 日時

平成22年9月3日(金) 14:00~17:15

3. 場所

(独) 科学技術振興機構(JST)・社会技術研究開発センター
〒102-0084 千代田区二番町3番地 麹町スクエア5階
(東京メトロ有楽町線・麹町駅5番,6番出口より徒歩1分)



4. プログラム

14:00~14:15 企画の趣旨

島田貴仁(科学警察研究所犯罪行動科学部・主任研究官)

14:15~17:15 講義「リスク心理学の基礎」

講師: 中谷内一也(同志社大学心理学部・教授)

講師紹介: 同志社大学大学院文学研究科単位取得退学後、静岡県立大学経営情報学部助教授、帝塚山大学人文科学部教授等を経て現職。博士(心理学)。日本心理学会研究奨励賞、日本リスク研究学会研究奨励賞等受賞多数。

リスク認知、リスクマネジメントにおける合意形成プロセス、信頼などをキーワードに、生活上のさまざまなリスクをめぐる心理学的研究にとりくむ。

主著は「環境リスク心理学(ナカニシヤ出版, 2003)」「ゼロリスク評価の心理学(同左, 2004)」「リスクのものさし(NHKブックス, 2006)」、「安全。でも、安心できない…(筑摩書房, 2008)」など。



5. 申し込み先

電子メールでお申し込み下さい(定員40名)

* 先着順にて受け付けさせていただきます、定員になりましたら締め切らせていただきます。

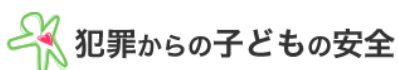
aizawa@placemaking.jp (株)プレイスメイキング研究所・相澤

主催

RISTEX 研究開発領域「犯罪からの子どもの安全」若手の会

社会技術研究開発プロジェクト「子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤の確立」

(原田プロジェクト)



子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤の確立
safe kids research project



http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/y_harada.html